

学校便り



学校教育目標

知徳体の調和のとれた品性ある子の育成
—チャレンジいっぱい 笑顔いっぱいの学校—

すすんで考えを伝え合う子

思いやりを形で表す子

粘り強く取り組む子

後期学校評価の結果のお知らせ

春寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施しました「保護者アンケート」「教員アンケート」「児童アンケート」の結果を報告させていただきます。

※アンケートは4段階評価です。

(A…よくあてはまる B…あてはまる C…あてはまらない D…全くあてはまらない)

※結果の％はA+Bの肯定的な評価の割合です。

1 保護者アンケート

	お子さんの様子	前期 (%)	後期 (%)
1	お子さんは、学校は楽しいと思っている。	96	96
2	学校は、お子さんのことについて相談に応じてくれる。	94	96
3	お子さんは、授業はわかりやすいと思っている。	91	92
4	お子さんは、10分×学年の家庭学習をしている。	75	73
5	お子さんは自分からあいさつをしている。	84	83
6	お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	92	94
7	お子さんは進んで体をよく動かしている。	90	88
8	お子さんの話や学校からのおたより等で、学校の様子がわかる。	90	95

2 教員アンケート

	評価観点	前期 (%)	後期 (%)
1	児童は学校で楽しく過ごしている。	100	100
2	児童の様子を把握し、家庭への連絡や相談等、適切な対応を心がけている。	94	94
3	仕事に優先順位をつけ、効率よい働き方になるよう工夫している。	78	78
4	ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている。	100	100
5	児童が相手を意識して伝え合えるよう指導している。	94	94
6	児童は相手の反応を見ながら話したり、聴いて反応したりしている。	82	82
7	家庭学習の習慣化を進めるため、宿題の内容を指導・工夫している。	100	100
8	あいさつ等、児童の自発的な活動を促すような場の設定や指導を工夫している。	100	100
9	児童は、自分から挨拶をしている。	94	94
10	児童が相手を大切に「聴く」「反応」ができるよう働きかけをしている。	94	94
11	児童は先生や友達の話最後まで聞いている。	94	94
12	子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごせるよう指導している。	100	100
13	体育の時間やその他の時間で、目標を持って進んで運動に取り組めるよう働きかけている。	100	100
14	児童主体の特別活動になるよう、話し合い活動を充実させるよう指導している。	93	93
15	係や当番、委員会の活動に責任を持って取り組めるよう働きかけている。	100	100
16	各種おたよりやHP等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。	87	87

3 児童アンケート

	自分の様子	前期 (%)	後期 (%)
1	学校は、楽しいですか。	97	97
2	困ったことがあったら先生に相談できますか。	86	80
3	授業は、わかりやすいですか。	93	96
4	自分の考えを相手に伝えるように書いたり話したりしていますか。	92	93
5	10分×学年の家庭学習をしていますか。	86	88
6	自分からあいさつしていますか。	96	96
7	先生や友達の話聞く時、話す人を見てうなずきながら聞いていますか。	92	94
8	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしていますか。	87	85
9	目標を持って進んで運動をしていますか。	91	91
10	学校や学級をよくするために積極的に話し合に参加している。	92	93
11	係や当番、委員会の活動を責任を持って取り組んでいますか。	95	95
12	お家の人と学校の話をしていますか。	82	88

4 分析と改善策

(1) あいさつ（思いやりを形で表す子）

「自分から挨拶できる児童」を目指し、朝のあいさつ、授業のあいさつ、来校者へのあいさつ、帰りのあいさつなどを大切にしながら指導しています。児童の評価は90%を越えますが、保護者の評価は依然として80~90%です。委員会では「挨拶名人」を見つけて全校に知らせたり、カードに書いて掲示したりする取組から、自己や他者が認められることで「自分から」に繋がっていったのではと考えられます。挨拶の基本と共に「あいさつの必要性」や「マナー」についてこれまで同様指導していきます。ぜひ保護者の皆様からも心の通い合う挨拶をお願い致します。



(2) 伝え合う（すすんで考えを伝え合う子）

「児童が相手を意識して伝え合えるように指導している（教員）」「自分の考えを相手に伝えるように書いたり話したりしていますか（児童）」は共に前期と同じ結果でした。「伝え合い」を意識するために「Qワード」（なぜそう思うの？どこから？それって〇〇のこと？…）を使ったり、話し合う場（ペアやグループなど）の設定を工夫したり、自ら動いて友だちと解決したりなど、授業の中で取り組んできました。「相手を意識して伝え合う授業」は昨年度からの重点であり児童の学びにとって大事な視点だと捉えています。今後も児童の実態に即して具体的な取組を掲げ継続していくことでさらに力をつけていきます。



(3) 家庭学習

教師の評価より「宿題の内容や量」については適切に提示していると考えますが、取組の様子には個人差もあり、結果として児童・保護者の評価には繋がっていません。毎学期、設けている家庭学習強化週間の取組は、今後も中学校の定期テストなどに合わせて継続します。そして取組後には習慣化に繋がるよう、内容の見直しと児童の実態に合った課題の工夫に心がけます。ご家庭ではお子さんの宿題への取組の様子に関心を持って頂き、内容や量についても見て頂きたいと思います。学校では、学んだことの補充として宿題があること、自分自身の課題を見つけ克服するために家庭での学習があることを学年に応じて伝えていきます。「学習することは楽しいこと」という経験を小学生のうちから身につけられるように学校と家庭とが一緒に働きかけていきましょう。



(4) 笑顔いっぱいの特別活動（粘り強く取り組む子）

係活動等への取組については、児童・教師共に前期同様の90%を越えました。高学年が当たり前でできる姿を見せることで、下学年は高学年を手本とする意識が高まり、学校全体として仕事に責任を持ち行う児童が増えました。さらに、それを支える「学校や学級をよくするために話し合いに参加している」児童の評価も上がりました。「伝え合う」取組によりどの学年も話し合い活動が積極的に行われ、自分たちの学級、学年、学校をより良くしようとする意識の向上も見られます。今後も取組を継続し、必要に応じて声掛けをしながら児童の主体性を育んでいきます。また話し合い活動後には振り返りも行い、良い点について価値づけを行い、次に繋げます。また、話し合いにより決まったことを実行に移すことができているかを見取りも大切にし、児童の活動を支えながら充実感の得られる学校生活を目指します。



後期は「授業がわかりやすい」の評価が児童、保護者共に伸びました。「進んで考えを伝え合う子」を目指し授業実践を重ねて3年目。児童同士が伝え合おうとする意識と、児童自ら解決しようとする意識の向上が図られたことが一因ではないかと考えられます。「お家の人と学校の話をしていますか（児童）」「お子さんの話や学校からのおたより等で学校の様子がわかる（保護者）」の評価も伸びました。学校という集団生活の中での楽しみを見出すことで家庭での話題に繋がったのではと考えます。今後ともこの結果に満足せず100%を目指し工夫、改善していきます。お子さんのことでご心配やご相談などありましたら、いつでも学校へご連絡下さい。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

5 学校関係者評価委員会より（令和7年1月28日（火））

- ・児童の自然な挨拶、声の響きに優しさや素直さが感じられ、心の通い合う挨拶の推進に尽力している。
- ・保護者の評価が全体として上がっているのは、学校が保護者とコミュニケーションを取ることで保護者が学校に対して信頼を高めている結果と言える。親子の関わりを大切にしたい PTA 行事も有意義なものとしていく。
- ・学校とコミュニティ組織が連携し、児童の自己肯定感を高められるイベントなどを児童と共に企画・運営していきたい。